

令和5年度



木津川市 予算のあらまし



もくじ

はじめに	1
令和5年度 木津川市予算一覧	2
一般会計歳入予算の内訳	3
一般会計歳出予算の内訳	4
グラフでみる一般会計歳入予算の推移	5
グラフでみる一般会計歳出予算の推移	6
令和5年度の主な事業	7
都市計画税に係る事業	14
市民ひとりあたりの予算額	巻末

木津川市の
予算や事業
をご紹介します。
ます。

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**



木津川市マスコットキャラクター
いづみ姫

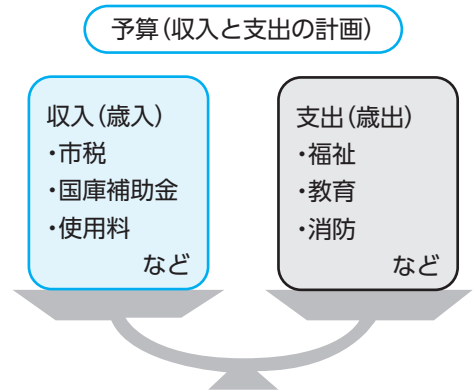
はじめに

予算

地方公共団体は、市民の皆さんから納めていただいた税金などを財源として、いろいろな事務・事業(仕事)を行っています。年度の始まる前に仕事の計画とそれに必要な経費や財源について、1年間の収支計画である予算を作成しています。

また、1年間のうちには、予算案作成時の計画と状況が変わることがあります。そのときには、補正予算案を作成して当初の計画変更を行います。

木津川市では、市民の皆さんが納めていただく税金がどのように使われるのか、木津川市の1年間の収支計画を知っていただくために、「木津川市予算のあらまし」を作成しています。



木津川市のおサイフ(会計)

木津川市のおサイフ(会計)は、わかりやすい会計を行うために、一般会計のほかに特別会計と公営企業会計に分かれています。

一般会計は、福祉や教育、道路や公園などの整備、管理など、基本的な行政サービスを提供するための会計です。

特別会計は、国民健康保険など、一般会計と区別する必要がある特定の収入をもって特定の事業を行うための会計です。

公営企業会計は、水道、下水道事業を行うため、民間企業と同じ経理方式で運営する会計です。

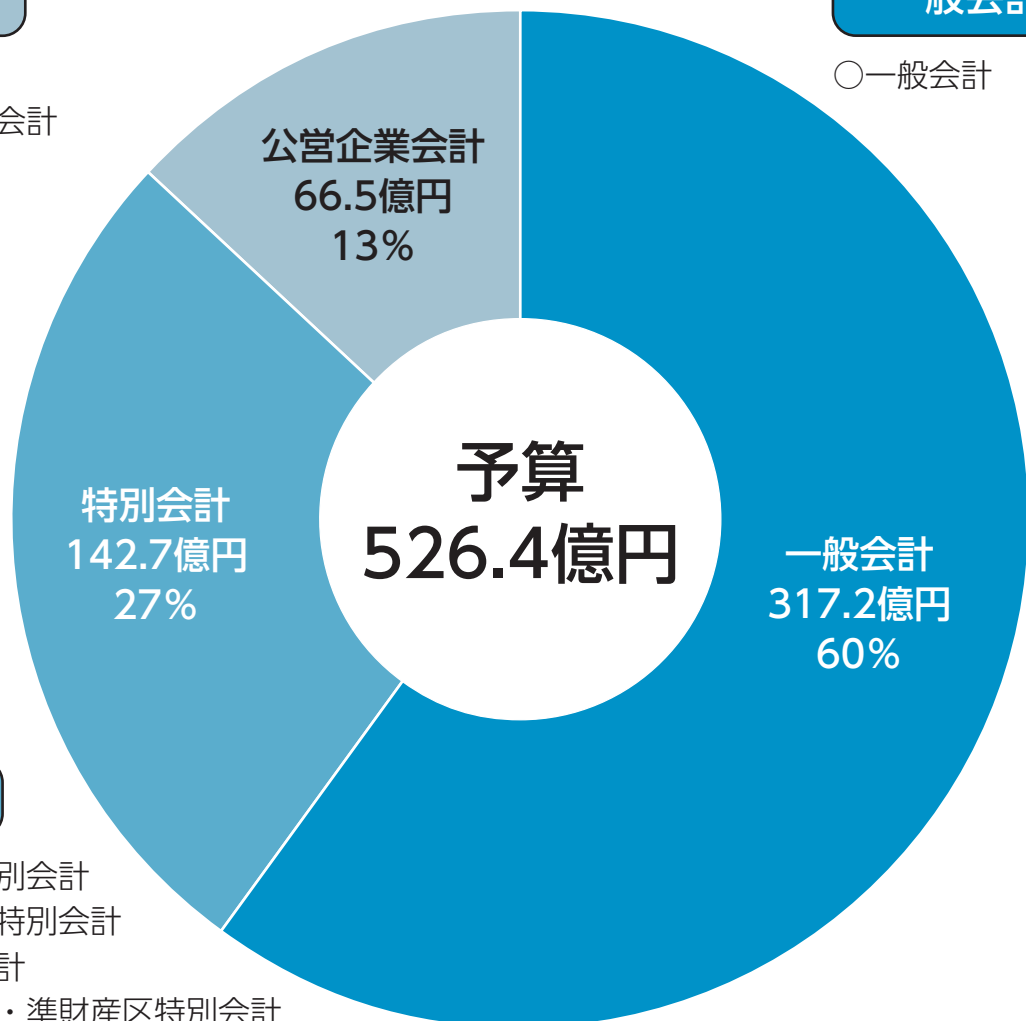
この冊子では、一般会計の予算を中心に説明します。

公営企業会計

- 水道事業会計
- 公共下水道事業会計

一般会計

- 一般会計



特別会計

- 国民健康保険特別会計
- 後期高齢者医療特別会計
- 介護保険特別会計
- 財産区特別会計・準財産区特別会計

令和5年度 木津川市予算一覧

(単位：万円、%)

会計別		令和5年度 予算額	令和4年度 予算額	比較		
				増減額	増減率	
一般会計		3,172,300	3,460,000	△ 287,700	△ 8.3	
特別 会計	国民健康保険特別会計	699,800	711,745	△ 11,945	△ 1.7	
	後期高齢者医療特別会計	121,129	117,687	3,442	2.9	
	介護保険特別会計	597,385	575,504	21,881	3.8	
	旧北村旧兔並村旧里村 財産区特別会計	4,580	170	4,410	2,594.1	
	旧加茂町財産区特別会計	310	100	210	210.0	
	旧瓶原村財産区特別会計	1,170	470	700	148.9	
	旧当尾村財産区特別会計	320	55	265	481.8	
	旧木津町準財産区特別会計	2,418	2,063	355	17.2	
	特別会計小計	1,427,112	1,407,794	19,318	1.4	
公営 企業 会計	水道事業会計	収益的収入 (税込み)	190,986	189,533	1,453	0.8
		収益的支出 (税込み)	200,525	189,533	10,992	5.8
		資本的収入 (税込み)	11,478	95,084	△ 83,606	△ 87.9
		資本的支出 (税込み)	69,084	157,730	△ 88,646	△ 56.2
	公共下水道 事業会計	収益的収入 (税込み)	245,302	241,900	3,402	1.4
		収益的支出 (税込み)	245,302	241,900	3,402	1.4
		資本的収入 (税込み)	97,813	98,758	△ 945	△ 1.0
		資本的支出 (税込み)	150,165	152,931	△ 2,766	△ 1.8
	公営企業会計小計 ※ 1		665,076	742,094	△ 77,018	△ 10.4
	合計		5,264,488	5,609,888	△ 345,400	△ 6.2

※ 1 公営企業会計については、収益的支出及び資本的支出の額を合計しています。

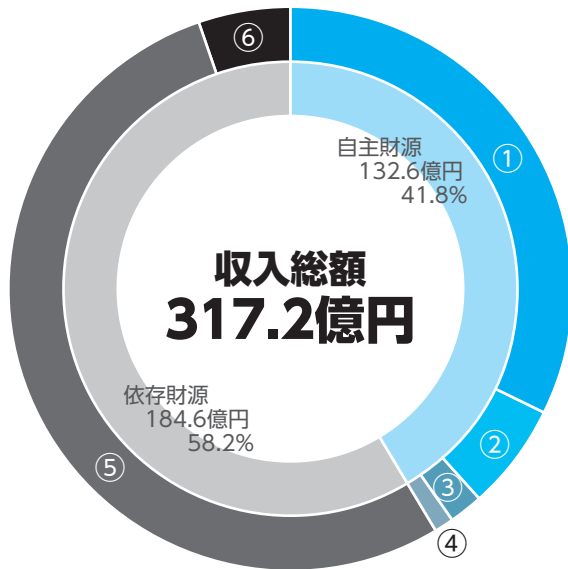
※ 2 予算額端数処理のため、合計と増減額が一致しない場合があります。

一般会計歳入予算の内訳

「木津川市の収入にはどのようなものがあるのか」という視点で、令和5年度の一般会計（当初予算）を例に収入の状況を紹介します。

一般会計歳入予算

歳入のうち、市民の皆さんから納めていただく市税は約3割です。半分以上は国や府からのお金（国府支出金）や借金（市債）などです。



自主財源 木津川市が自主的に収入できる財源 **132.6億円**

- ① **【市税】 102.9億円**
市民の皆さんから納めていただく税金
- ② **【繰入金】 19.7億円**
積み立てた基金や特別会計から受け入れるお金
- ③ **【使用料・手数料など】 6.9億円**
施設の使用料や行政サービスの手数料など
- ④ **【その他】 3.1億円**
木津川市の財産を売ったり貸したりする収入など

依存財源 国や府から交付される財源 **184.6億円**

- ⑤ **【国府支出金、交付金】 167.5億円**
国や府から交付されるお金
- ⑥ **【市債】 17.1億円**
施設整備などのために借り入れるお金

※地方消費税交付金のうち社会保障制度の安定した財源として活用することを目的とする税率引上げ分は、8億7,884万円を見込んでおり、高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉、母子福祉、生活保護、国民健康保険、介護保険、年金、医療、疾病予防、健康増進などの施策（社会保障制度）を実施するための財源として活用します。

- 市税では納税義務者数や新築・増築家屋の増などから前年度より3億5,258万円増額を見込んでいます。
- 地方交付税では、国の地方財政計画などを参考に試算した結果、前年度より1億5,000万円増額を見込んでいます。
- 国庫支出金では、新型コロナウイルスワクチンの接種など補助対象となる事業費の減額から、前年度より9億9,531万円減額を見込んでいます。
- 市債では、大型事業の進捗によって、普通建設事業費が大幅な減額となったことに伴い、前年度より17億7,150万円減額を見込んでいます。
- 基金からの繰入金については、財政調整基金繰入金が11億6,518万円、公共施設等整備基金から4億1,000万円、合併算定替減対策基金から1億3,000万円、循環型社会推進基金から3,177万円を繰り入れるなどによって、事業の充実と歳入歳出予算の均衡を図っています。

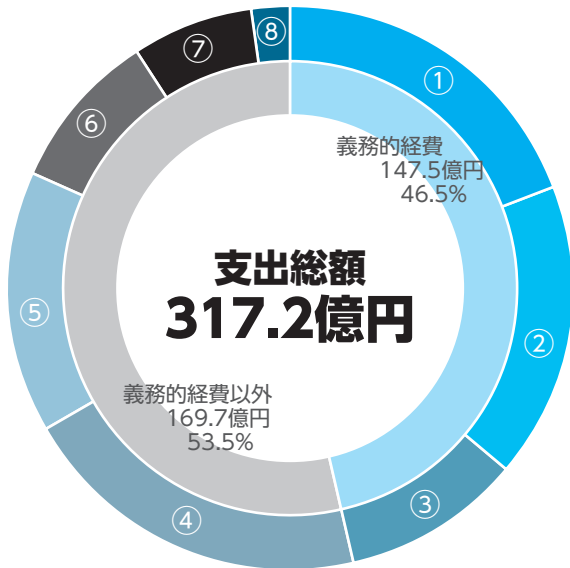
一般会計歳出予算の内訳

歳出予算については、財政構造や財政運営の特質を知るために役立つ性質別と行政サービスの水準や行政上の特性を知るのに役立つ目的別の分類方法があります。

性質別

どのような経費に使うのか 【性質別】一般会計歳出予算

扶助費、人件費、公債費のような必ず支払わなければならない経費（義務的経費）の割合が大きいほど、財政の硬直化が進んでいることを示します。



義務的経費 147.5億円
法令や性質により支出が義務付けられている経費

- ① 【扶助費】 59.8億円
子ども、高齢者、障がい者、生活困窮者などを支援する費用
- ② 【人件費】 55.0億円
市職員の給料や手当、各種委員報酬などの費用
- ③ 【公債費】 32.7億円
借り入れたお金の返済のための費用

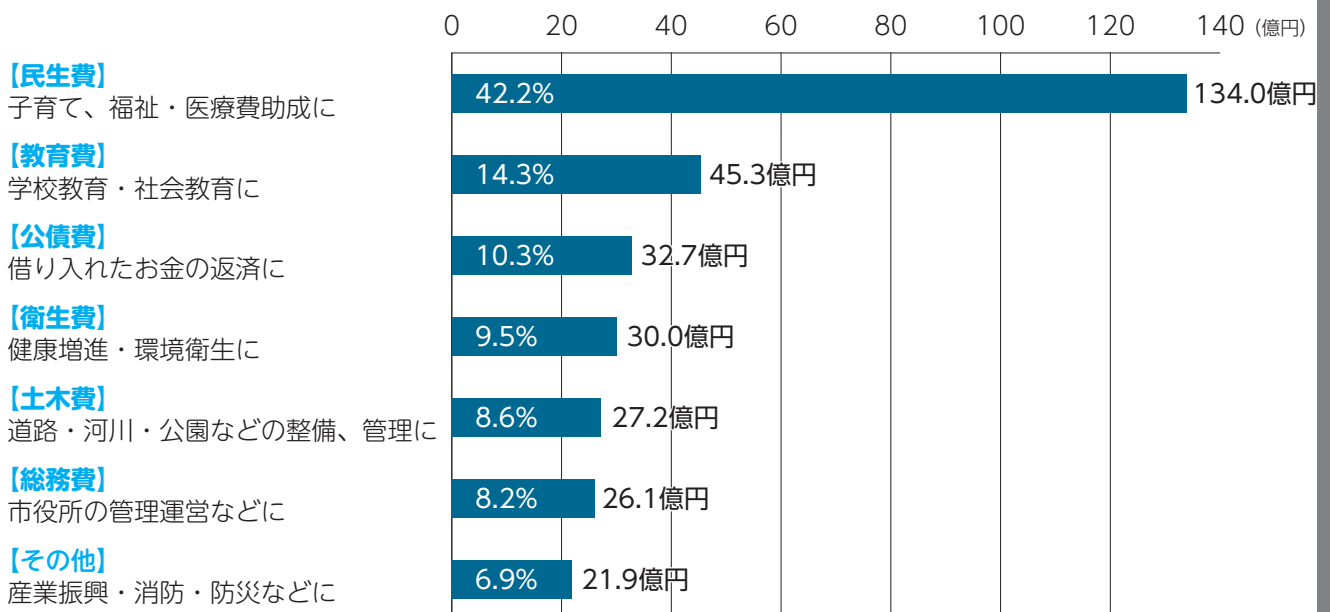
義務的経費以外 169.7億円

- ④ 【補助費等】 63.7億円
公営企業や一部事務組合などへの各種負担金や補助金などの費用
- ⑤ 【物件費】 48.5億円
物品の購入費用など消費的性質の経費
- ⑥ 【投資的経費】 27.9億円
道路や学校など公共施設等整備の費用
- ⑦ 【繰出金】 22.2億円
特別会計に支出する費用
- ⑧ 【その他】 7.4億円
公共施設等の維持補修費や基金への積立金などの費用

目的別

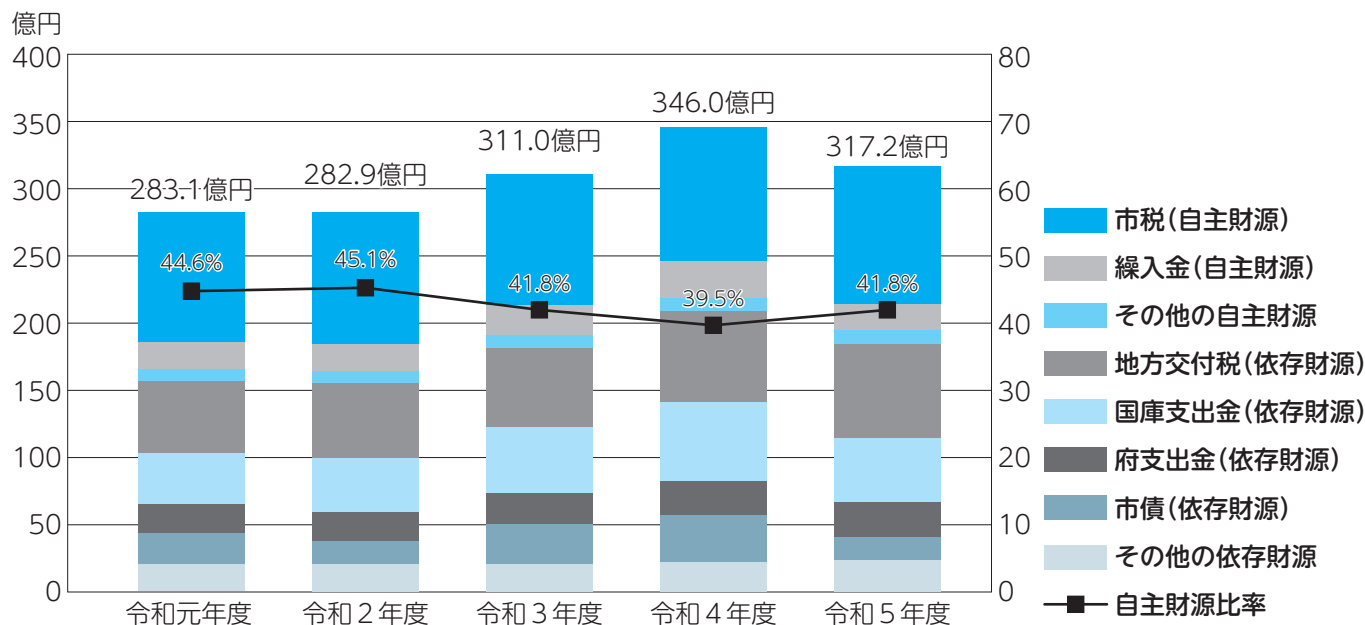
何のために使うのか 【目的別】一般会計歳出予算

子育てや福祉、道路の整備、教育、健康増進など幅広い分野にお金が使われています。



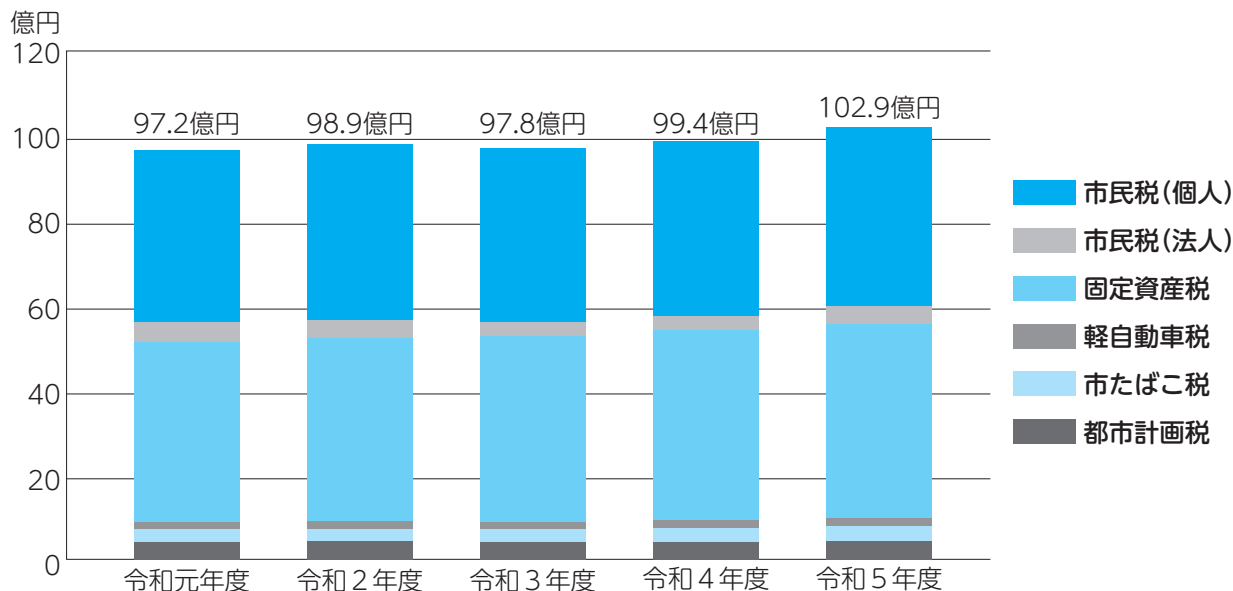
グラフでみる一般会計歳入予算の推移

自主財源と依存財源



自主財源が多いほど安定した自治体運営ができるとされています。
 本市の自主財源比率は40%前後を推移しており、令和5年度は41.8%となりました。自主財源の大部分を占めるのは市税で、令和5年度の予算全体に対して32.4%の割合となっています。

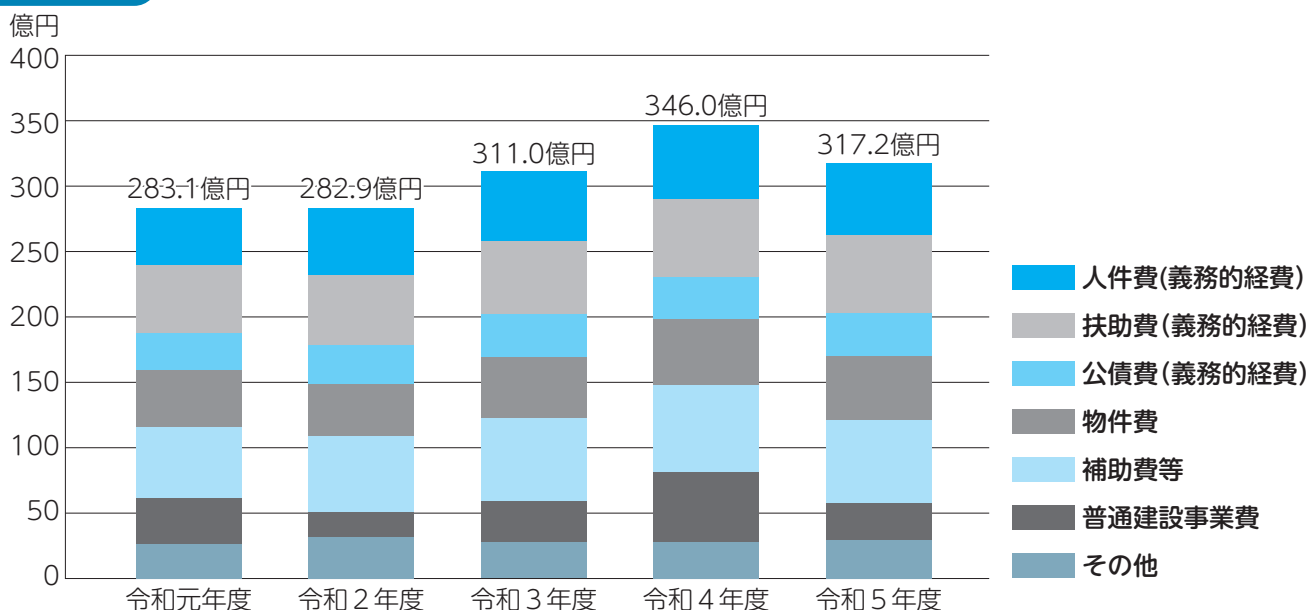
自主財源のうち市税の内訳



市税の内訳をみると、市民税と固定資産税が大きな割合を占めています。人口の増加や企業の設備投資、新築家屋の増加などにより、令和5年度の市税総額は前年度当初予算と比べて3.5%、3億5,258万円の増加を見込んでいます。

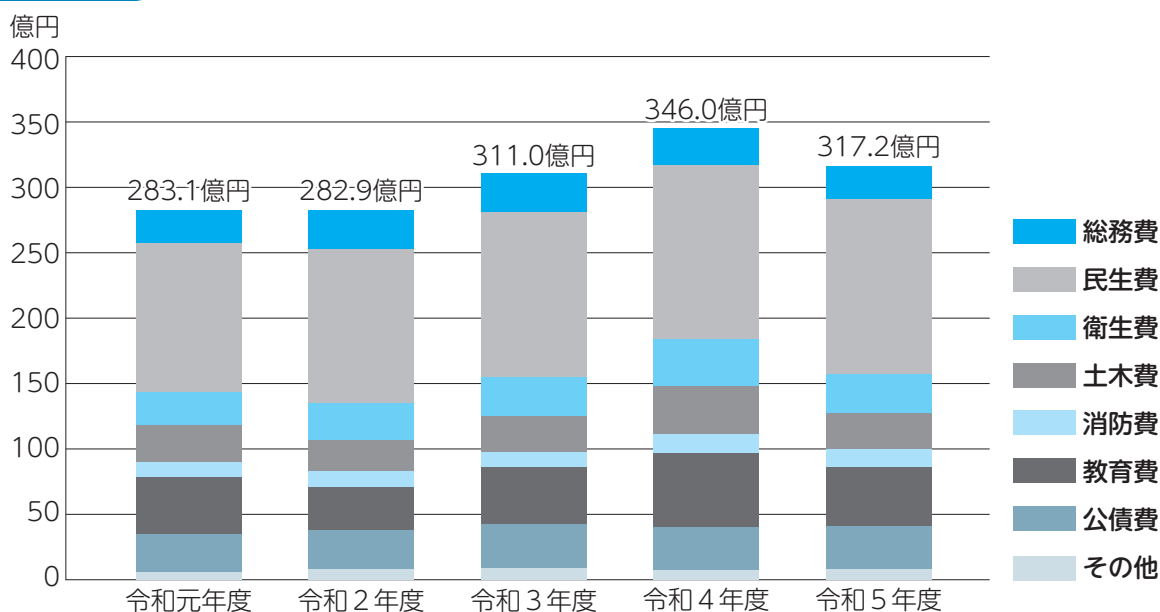
グラフでみる一般会計歳出予算の推移

性質別



令和5年度は昨年度と比べると、木津、相楽、城山台小学校の校舎増改築や小川内水対策事業などの進捗によって、普通建設事業費が大きく減額となるほか、新型コロナウイルスワクチン集団接種費用を計上する物件費や補助費などが減額となっています。ただし、扶助費については、年々増加傾向となっており、義務的経費の増加は財政構造の硬直化を招く要因にもなりますので、健全な財政運営のためには注意が必要です。

目的別



令和5年度は昨年度と比べると、教育費と土木費が大きく減額となっています。教育費では、城山台小学校の校舎増築の完了、木津、相楽小学校の校舎等整備費の減額などによるものです。土木費では、小川内水対策事業費にかかる工事進捗のピークが過ぎたことによる工事費の減額などによるものです。その他、総務費、衛生費、消防費、公債費も減額となっていますが、民生費は相楽療育教室の改修工事費などを計上したことにより増額となっています。

令和5年度の主な事業

令和5年度は、第2次木津川市総合計画前期の最終年度にあたり、前期の取り組みを総括し、必要な見直しの上で後期計画の推進を期すべき重要な年度と位置づけています。

教育・保育施設の整備・充実、地域ごとに特色あるまちの発展、防災・減災対策、スマート化宣言に基づく住民サービスの向上など、これまで重点的に取り組んできた施策を優先し、予算を編成しています。

それでは、第2次木津川市総合計画の7つの基本方針の区分にそって、本年度の主な事業を紹介します。



©木津川市

基本方針 1 ともに「学び」「喜び」「成長し」 未来を生きる子どもを育むまちづくり

待機児童対策・医療的ケア児支援

6億5,079万円



待機児童対策として受入児童数の増加や支援の必要な児童を受け入れるため、保育士の増員を行います。また、令和5年4月から医療的ケア児の受入を行うため、保育士と看護師を配置します。



出産・子育て応援交付金

7,713万円



すべての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができる環境を整備するため、必要な支援に結びつける伴走型相談支援と、妊娠届出後に5万円、出産届出後に新生児1人につき5万円の経済的支援を一体的に実施します。



新生児聴覚検査費用助成

280万円



新生児の聴覚障害を早期発見し、適切な支援に結び付けることで音声言語発達などへの影響を抑えられるよう、すべての新生児を対象に聴覚検査費用の助成を行います。



民間園への物価高騰対策補助・学校給食費物価高騰対策

5,200万円



学校給食の保護者負担を軽減するため、食材費などの物価高騰分を市が負担します。

また、同様に市内民間保育施設と私立幼稚園に対しても補助を行います。



学校給食の献立メニュー

木津小学校と相楽小学校の校舎改築等

8億5,835万円



木津小学校では、新校舎の供用開始に続き、北校舎解体工事、外構整備工事を行います。

また、相楽小学校では、北校舎の新校舎建築工事と空調移設工事を行います。



解体工事を行う木津小学校北校舎

ICT教育の推進・自動採点システムの導入

3億4,466万円



児童生徒一人一台端末をはじめとしたGIGAスクール・授業支援・校務関係のICT機器を整備します。

また、中学校での教員によるテスト採点業務の軽減を図るため自動採点システムを導入します。



基本方針2 誰もが生き生きと、生涯元気で暮らせるまちづくり

第2次自殺対策計画の策定と自殺予防対策の推進

654万円



第1次木津川市自殺対策計画の計画期間が令和5年度で終了し、国の自殺総合対策大綱が概ね5年を目処に見直すこととされていることを踏まえ、第2次計画の策定に向け、アンケート調査や分析、計画書の作成を行います。

また、自殺予防対策として、「こころの体温計」運営管理を行います。

第4次地域福祉計画・木津川市地域福祉活動計画の策定

482万円



地域福祉を推進するための、市民と市のマスタープランとして作成した「第3次木津川市地域福祉計画・木津川市地域福祉活動計画」が令和6年度で終了するため、令和5年度から2か年かけて第4次計画の策定を行います。なお、令和5年度は、基礎調査としてアンケートを実施します。

第4次木津川市障害者基本計画、第7期木津川市障害福祉計画・第3期木津川市障害児福祉計画の策定

611万円



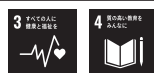
第3次木津川市障害者基本計画、第6期木津川市障害福祉計画・第2期木津川市障害児福祉計画の計画期間が令和5年度末で終了となることから、次期計画を策定します。

令和5年度末に終了を迎える第3次木津川市障害者基本計画と第6期木津川市障害福祉計画・第2期木津川市障害児福祉計画



相楽療育教室の長寿命化改修と児童発達支援センター化

8,413万円



相楽療育教室の老朽化に伴い、屋上防水等修繕を行います。またあわせて、児童発達支援センターの要件を満たすため、改修工事を行います。



老朽化対応と児童発達支援センター化改修を行う相楽療育教室

第2次生涯学習推進計画の策定

76万円



市民一人ひとりが生きがいのある充実した人生を送ることができる生涯学習社会実現のための基本的な考え方や方向性を示した木津川市生涯学習推進計画が令和5年度末で終了するため、令和6年度から10年間を計画期間とする第2次計画の策定を進めます。

中央図書館長寿命化改修

1億2,850万円



中央図書館の施設長寿命化に向けて、屋根、防水、壁面などの改修工事を行います。



長寿命化改修を行う中央図書館

基本方針3 一人ひとりが認め合い、力を発揮できるまちづくり

山城人権フェスタなどの人権啓発事業の開催

550万円



令和5年度から6年度にかけて、木津川市が山城人権ネットワーク推進協議会事務局を担うことに伴い、山城管内の多くの市民に人権意識の高揚を図る機会を提供するため、「山城人権フェスタinきづがわ」の開催など、人権啓発事業を行います。



山城人権フェスタinきづがわ(平成24年度)のようす

木津人権センターと木津児童館の複合化改築設計

1,415万円



木津人権センターと木津児童館を複合施設として整備することにより、相乗効果の創出と、より効率的な施設運営を目指します。



施設複合化を目指す木津児童館

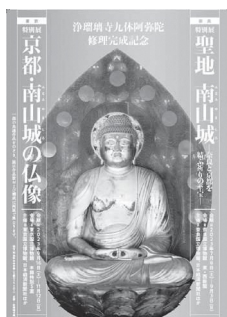
基本方針4 人・資源・立地を活かし、未来を拓く産業のまちづくり

東京・奈良国立博物館観光PRブース出展

327万円



浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成を記念して開催される東京・奈良国立博物館特別展においてPRブースを設置し、木津川市への誘客を図ります。



東京・奈良国立博物館特別展のチラシ

当尾石仏の道散策道周辺環境整備計画作成・危険木除去

211万円



加茂町当尾地域の観光散策道等の枯損木を含む樹木や放置竹林を整備し、安全性を確保することで観光誘客につなげるため、現地の測量や整備計画の作成を行います。

また、石仏の道に暴風雨などによって発生する倒木を撤去し、散策道の整備と観光客の安全を確保します。

地域の特産品を活用した商品開発

400万円



フードロス削減、生産拡大、ふるさと納税の拡大を目指し、市内の特産品を活用した新たな商品を開発します。開発した商品の販路を拡大するために、印象に残るプロモーションを進めます。



商品開発に向けた試食会のようす

恭仁宮跡史跡指定地の公有化

4,466万円



京都府との連携による史跡恭仁宮跡の保存活用のため、史跡指定地公有化の取り組みをいっそう推進します。また、恭仁宮をテーマにした講演会や小学生親子見学ツアーを予定しています。



恭仁宮復元図

森林経営管理制度による人工林の調査分析及び整備

1,088万円



林業の成長産業化と森林資源の適切な管理の両立を図る森林経営管理制度に基づく取り組みとして、加茂町瓶原地域の森林所有者に対して意向調査を行い、現地調査・周囲測量（8ha）を行います。

また、令和4年度の意向調査や現地調査・測量の成果をもとに、山城町棚倉地域（7ha）において間伐による森林整備を行います。

企業立地促進のための助成金

8,645万円



企業立地を促進し地域経済の活性化と雇用の創出を図るため、市内に進出される企業に対して助成金を交付します。令和5年度は9社に対して助成します。



梅美台地域の立地企業

基本方針5 災害などから市民を守り、安心・安全に暮らせるまちづくり

農道橋りょうの補修

2,600万円



農道橋の点検結果と施設保全計画に基づき、架橋から20～30年を経過している車谷1号橋と車谷2号橋の伸縮装置取替や漏水対策のための舗装打替など補修工事を行います。



舗装打替など補修工事を行う車谷1号橋

小川内水対策

4億7,152万円



小川流域において、平成25年及び平成29年の台風による内水により大規模な浸水被害が発生したことから、木津合同樋門に排水ポンプを増設し、また、内垣外地内に排水ポンプ施設を新設することにより、浸水被害の軽減を図ります。



小川地内の排水ポンプ施設新設工事のようす

ため池の劣化状況調査、防災重点農業用ため池の改修などの適正管理

2,256万円



防災重点農業用ため池である兎並地区の小坊院池の廃池工事にかかる実施設計を行います。

また、京都府が実施する防災重点農業用ため池である梅谷古池の改修事業に対して負担金を支出します。令和5年度はため池堤体工事を実施します。

城山台地域から木津南中学校への通学路（木津南北線）の安全対策

3,169万円



令和5年度から城山台地域の一部の中学校区が木津南中学校となり、通学路となる市道木337号木津南北線の安全対策のため、歩道拡幅に向けた測量設計と用地取得を行うとともに、ガードパイプの設置を行います。



安全対策を行う木津南北線

旧加茂体育館等の解体による周辺安全確保

9,400万円



新耐震基準以前の建物である旧加茂体育館、旧加茂図書館、社会体育倉庫について、周辺の安全確保のため解体工事を行います。



安全確保のため解体する旧加茂体育館

幼稚園バス置き去り防止対策

100万円



園児の置き去り事故防止のため、幼稚園通園バスの安全装置設置などの改修を行います。



安全装置を設置する幼稚園通園バス

基本方針6 快適で住みよい生活環境と、豊かな自然に恵まれたまちづくり

市営住宅清水団地の建替

1億1,125万円



第2次木津川市営住宅ストック総合活用（長寿命化）計画に位置付けられている清水団地において、1棟2戸の建替工事を行います。



建替工事を行う清水団地

木津川台駅前線の整備

1億8,452万円

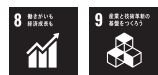


近鉄木津川台駅の2階からJR片町線と府道八幡木津線を上空で横断し、西側の駐輪場まで渡る歩行者専用道路の設置を行います。



木津川台駅前線整備工事のようす

広域道路「城陽井手木津川バイパス」の整備促進とにぎわい拠点の整備検討 4,553万円



国道24号城陽井手木津川バイパスの整備に向けた地籍調査として、山城町内において平尾・神童子地区の後期工程と椿井・上狛地区の前期工程を実施します。

また、城陽井手木津川バイパス沿線のまちづくり構想のうち、「にぎわい拠点」整備の機運醸成に向けた地元事業者を中心としたプラットフォームの立ち上げと運営を行います。

地域公共交通の活性化と利用促進・地域公共交通計画の作成 1,386万円



使いやすく満足度の高い公共交通を目指し、木津川市地域公共交通総合連携協議会において、公共交通日よりバス時刻表の作成など利用促進を図ります。

また、持続可能な公共交通と、活力と魅力あるまちづくりを構築するために策定した第2次木津川市地域公共交通網形成計画について、法改正に基づき、新たに地域公共交通計画を作成します。

J R 上狛駅のスロープ設置

500万円



J R西日本が令和5年度から令和6年度にかけて上狛駅の駅シンプレ化工事を予定していることから、工事にあわせて本市がJ R西日本に工事を委託し、上狛駅入口部分にスロープを設置することで駅入口のバリアフリー化を実現します。



スロープ設置工事を行うJ R上狛駅

COOL CHOICE普及啓発

143万円



環境イベントの実施や小学4年生向け学習ハンドブックの配布など、地球温暖化対策に関する情報発信を行います。



環境イベント「エコフェスきづがわ」のようす

基本方針7 効果的・効率的な行政運営と市民に開かれたまちづくり

第2次総合計画・後期計画と（仮称）デジタル田園都市構想総合戦略の策定 2,064万円



平成31年度から令和10年度までを計画期間とする第2次総合計画の中間見直しを行い、後期計画を策定します。また、令和2年度から令和6年度までを計画期間とする第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略について、国のデジタル田園都市構想と連動した総合戦略とすることを視野に入れ、計画見直しを前倒しし、次期計画を策定します。

引越しワンストップサービスの実施・個人番号カード交付推進 5,754万円



引越しワンストップサービスが令和5年2月にスタートしたことに伴い、書かない窓口支援（異動支援）システムを改修します。

また、マイナンバーカードの申請受付・交付などの手続きに加え、マイナポイント予約・申込の設定支援、これと同時に行う健康保険証利用申込などの設定支援を実施します。



マイナンバーカード関連受付窓口

道路台帳閲覧システムの導入

431万円



現在、紙媒体で閲覧に供している道路台帳を電子データでの閲覧を可能とするため、データ整備を行い、システムと窓口閲覧用端末の導入を進めます。



閲覧システムを導入する道路台帳

ふるさと納税の取組強化などふるさと応援の促進

4,977万円



民間事業者との連携や、ポータルサイトの広告など取り組みを強化することで、寄附者への市の魅力を発信するとともに、クレジット納税など利便性向上に取り組み、ふるさと納税寄附件数の増加を図ります。



ふるさと納税の返礼品

地方創生推進交付金活用事業

「地方版総合戦略」に位置付けられた地方公共団体の自主的・主体的で先導的な取り組みを支援するための制度である国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用し、次の事業を実施します。

首都圏人材京都還流促進事業

160万円



就業のマッチング支援と一体となった支援金の給付を伴う移住支援を実施し、首都圏からの人材還流に取り組みます。



お茶の京都推進事業

456万円



お茶の京都地域の既存の幅広い観光地域づくり関連組織や団体等と連携し、各地域の個別の取り組みを調整します。また、お茶の京都博の取り組みを生かした地域全体の効果的な情報発信及びワンストップ窓口に取り組みます。



第3回お茶の京都エリア「お料理のおもてなし力」アップ講座

山背古道推進協議会負担金

50万円



木津川市・城陽市・井手町の3市町が連携して運営している山背古道推進協議会で引き続きウォーキングイベントを実施します。

また、謎解きキットを作成し、歩く楽しみに加え、謎解きをすることで能動的にまちの魅力を発見・体感してもらいます。

木津川アート事業

1,060万円



市が有する豊かな自然環境や歴史・文化の中に「現代アート」を取り入れた「木津川アート」を開催し、新たな市の魅力の再発見と誘客を図り、地域活性化に取り組みます。



木津川アートイベント「くそうのはらっぱ」のようす

ニューノーマル社会におけるバーチャルコミュニティ「きづがわいい」創造事業 247万円



予防接種管理、成長記録、健診など母子手帳に必要な情報を一元管理できる子育てに特化したアプリで子育て支援を図ります。

また、木津川市公式LINEアカウントを総合的な情報発信ツールとして活用していきます。



木津川市公式LINE

産業競争力強化支援事業

680万円



市内産業の発展を確保するため、競争力の強化や販路の拡大に取り組む事業者が実施する、「認証取得・更新」「展示会出展」「新たな販路拡大」に対して助成を行います。



市内事業者の展示会出展のようす

都市計画税に関する事業

■都市計画税

都市計画税は、市街化区域内にある土地や家屋にかかる税金で、都市計画事業に要する費用に使われるものです。都市計画事業とは、道路、公園、下水道などの施設整備や市街地開発です。税率は上限0.3%ですが、木津川市では0.15%としています。

令和5年度の予算で都市計画税に関する事業は下記のとおりです。都市計画事業の実施に必要な一般財源7億2,606万円のうち、都市計画税によって4億3,760万円をまかなう予定です。



©木津川市

■実施している都市計画事業

(単位：万円)

事業の内訳	予算額
地区計画道路整備事業	26
公共下水道事業会計負担金	53,790
公共下水道事業会計出資金	4,744
都市計画事業に充当した市債の償還金	14,046
歳出合計	72,606

(単位：万円)

財源の内訳	予算額
一般財源	72,606
うち都市計画税	43,760
歳入合計	72,606

ニーサ NISA は京都銀行で
 投信自動積立 毎月1,000円から積立できる♪
 資産運用についてじっくりご相談いただけます。
 京銀投信積立
 京都銀行 木津支店 0774(72)2211

これからも・いっしょ・なら・ワクワク
 奈良信用金庫
 ならしん 検索
 当金庫のキャッシュカードで当金庫ATMをご利用の場合、ATM入出金手数料が終日無料!
 木津川梅美台出張所 ☎0774-72-4411

一緒にうれしい On Your Side
 みなさまのすぐなりに京都中央信用金庫がいます。
 京都中央信用金庫
 木津支店 木津支店 棚倉出張所
 ☎ 0774(72)5151 ☎ 0774(72)5151
 加茂町支店 加茂町支店 和束出張所
 ☎ 0774(76)2345 ☎ 0774(76)2345

市民ひとりあたりの予算額



©木津川市

本年度の予算額を一般家庭の生活費に例えて紹介します。

令和5年度の一般会計予算を市民ひとりあたりにすると、約39万6千円のお金になり、前年度予算(約43万4千円)と比べて約3万8千円分、予算規模が縮小しました。

市民ひとりあたりの支出では、子どもへの仕送りにあたる繰出金と、医療費・学費などにあたる扶助費が増えている一方、それ以外の費用は減っています。中でも特に家の修繕・増改築費にあたる普通建設事業費が減っています。

市民ひとりあたりの収入では、給与が8千円ほど増え、親からの仕送りやローンの借入は減っている状況です。

家計の収入のうち最も大きな割合を占める市税では、左下の表のとおり、市民ひとりあたりの市税は4千円ほど増加していることがわかります。

(単位：円)

市民ひとりあたりの収入 (歳入)	令和5年度	令和4年度
給与 (市税、各種譲与税、交付金など)	256,884	249,268
うち消費税率引上げによる 地方消費税交付金の増分	10,982	9,859
親からの仕送り (国庫・府支出金など)	93,565	106,304
ローンの借入 (市債)	21,329	43,680
貯金からの引出し (繰入金・繰越金)	24,631	35,241
合計	396,409	434,493

(単位：円)

市民ひとりあたりの市税	令和5年度	令和4年度
市民税(個人)	53,359	52,307
市民税(法人)	5,336	4,214
固定資産税	57,746	56,560
軽自動車税	2,453	2,348
市たばこ税	4,277	4,044
都市計画税	5,468	5,373
合計	128,639	124,846

令和5年4月1日現在の木津川市全人口 80,026人

令和4年4月1日現在の木津川市全人口 79,633人

(単位：円)

市民ひとりあたりの支出 (歳出)	令和5年度	令和4年度
食費 (人件費)	68,694	70,423
医療費、学費など (扶助費)	74,797	74,643
光熱水費、日用品費 (物件費)	60,595	62,430
子どもへの仕送り (繰出金)	27,706	26,877
家の修繕・増改築費 (普通建設事業費など)	41,563	72,435
ローンの返済 (公債費)	40,881	41,160
町内会費、サークル活動など (補助費等)	79,571	84,294
貯金 (積立金など)	2,602	2,231
合計	396,409	434,493

※金額は、令和5年度と令和4年度の予算額を各年の4月1日現在人口で割ったものです。

令和5年度木津川市予算のあらまし

発行 令和5年6月 木津川市役所総務部財政課
 電話番号 0774-72-0501(代表)
 0774-75-1202(直通)
 E-mail zaisei@city.kizugawa.lg.jp

投資信託・NISA
 口座開設サービス
 NANTOBANK
 スマホから
 簡単お申込み!!
 WOW!
株式会社 南都銀行 本店所在地 東京都橋本町1-6番地 登録金融機関 登録財務関係(証券)第19号 日本証券業協会加入

食と地域のパートナー
 京都やましろ
 木津支店 TEL:0774-72-1771
 山城支店 TEL:0774-86-2276
 加茂支店 TEL:0774-76-2063

2024年より、木津川市に引っ越しします!
 ☆書道用墨汁や固型墨の製造販売
 ☆建築・工業用筆記具の製造販売
 SHOSEKIDO
 株式会社 祥謙堂
 SINCE 1921
 本社 奈良市西木辻町113
 TEL (0742) 22-4256
 HP : [HTTPS://WWW.SHOSEKIDO.CO.JP/](https://www.shosekido.co.jp/)